

# MRL-IMD 設定例

## はじめに

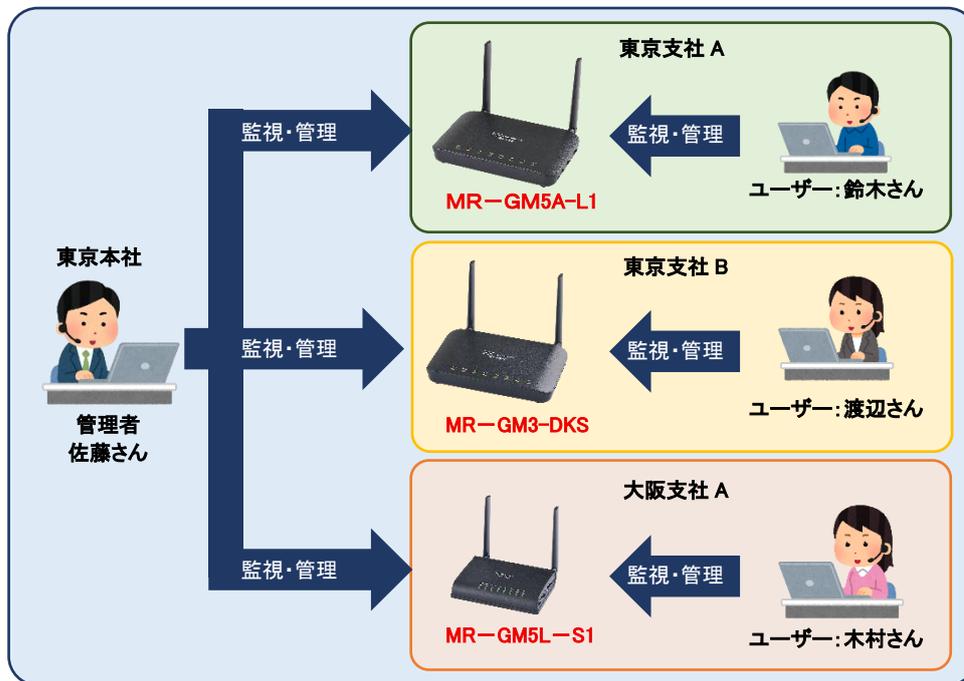
- 本書で説明する設定は一例です。  
ご利用の環境に合わせて設定を行って下さい。
- 本書の設定例では、デバイスから MRL-IDM へ定期的に通信を行う設定を説明しています。  
死活監視間隔の設定、ステータスメール送信間隔の設定、ファームウェア自動更新のスケジュール設定などによっては、想定外の通信量がかかる可能性があります。  
実際に利用する SIM や回線の契約内容に合わせて、死活監視間隔、ステータスメール送信間隔、ファームウェア自動更新のスケジュール設定を行って下さい。

## もくじ

1.環境例.....	1
2.デバイスグループ設定(管理者のみ).....	2
3.ユーザー設定(管理者のみ).....	4
4.デバイスの登録.....	7
4-1.東京支社 A のデバイス登録.....	8
4-2.東京支社 B のデバイス登録.....	9
4-3.大阪支社 A のデバイス登録.....	10
4-4.デバイス一覧の表示について.....	11
5.死活監視設定.....	12
5-1.東京支社 A の設定.....	12
5-2.東京支社 B の設定.....	16
5-3.大阪支社 A の設定.....	20
6.ステータスアラート条件設定.....	23
5-1.東京支社 A の設定.....	23
5-2.東京支社 B の設定.....	27
5-3.大阪支社 A の設定.....	31
7.ファームウェア更新 URL 設定.....	34
7-1.東京支社 A の設定(MR-GM5A を使用).....	34
7-2.東京支社 B の設定(MR-GM3 を使用).....	36
7-3.大阪支社 A 設定(MR-GM5L を使用).....	37
8.MR-GM5A の設定(東京支社 A).....	38
8-1.HTTP 回線監視の設定.....	38
8-2.NTP クライアント機能の設定.....	39
8-3.メール送信機能の設定.....	40
8-4.自動ファームウェア更新機能の設定.....	42
8-5.WAN 側からの設定(リモート設定)を許可する.....	44
9.MR-GM3 の設定(東京支社 B).....	46
9-1.HTTP 回線監視の設定.....	46
9-2.NTP クライアント機能の設定.....	47
9-3.メール送信機能の設定.....	48
9-4.タイマー自動ファームウェア更新機能の設定.....	50
9-5.WAN 側からの設定(リモート設定)を許可する.....	52
10.MR-GM5L の設定(大阪支社 A).....	54
10-1.HTTP 回線監視の設定.....	54
10-2.NTP クライアント機能の設定.....	55
10-3.メール送信機能の設定.....	56
10-4.自動ファームウェア更新機能の設定.....	58
10-5.WAN 側からの設定(リモート設定)を許可する.....	60
11.死活監視機能の動作について.....	62
12.ステータス監視機能の動作について.....	63

## 1.環境例

本設定例では、以下の環境を例に説明します。



- **東京本社**  
管理者名: 佐藤さん  
東京支社 A、東京支社 B、大阪支社 A、全てのデバイスを管理・監視します。
- **東京支社 A**  
ユーザー名: 鈴木さん  
東京支社 A のデバイスを管理・監視します。  
東京支社 A では **MR-GM5A-L1** を利用します。
- **東京支社 B**  
ユーザー名: 渡辺さん  
東京支社 B のデバイスを管理・監視します。  
東京支社 B では **MR-GM3-DKS** を利用します。
- **大阪支社 A**  
ユーザー名: 木村さん  
大阪支社 A のデバイスを管理・監視します。  
大阪支社 A では **MR-GM5L-S1** を利用します。

## 2.デバイスグループ設定(管理者のみ)

MRL-IDM に各支社のデバイスグループを設定します。

**本操作は管理者のみが可能です。(本設定例では、東京本社の佐藤さんのみ操作可能です。)**

東京支社 A、東京支社 B、大阪支社 A の 3 つのグループを設定します。



1つのデバイスグループに異なる機種を登録する事はできません。  
デバイスグループは、機種ごと(MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A、MR-GM5L)で分けて登録下さい。

①MRL-IDM のメニューから「デバイスグループ管理」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③デバイスグループ名に「東京支社 A」と入力し、デバイスシリーズで「MR-GM5A series(MR-GM5A-L1)」を選択して、「登録ボタン」を押して下さい。

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

④「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ⑤デバイスグループ名に「**東京支社 B**」と入力し、デバイスシリーズで「**MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)**」を選択して、「登録ボタン」を押して下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑥「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ⑦デバイスグループ名に「**大阪支社 A**」と入力し、デバイスシリーズで「**MR-GM5L series (MR-GM5L-S1)**」を選択して、「登録ボタン」を押して下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑧以上でデバイスグループの設定は完了です。

デバイスグループ一覧 3件		
デバイスグループ	デバイス台数	グループ内のデバイスシリーズ
東京支社A	0台 <a href="#">(詳細)</a>	MR-GM5A series (MR-GM5A-L1)
東京支社B	0台 <a href="#">(詳細)</a>	MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)
大阪支社A	0台 <a href="#">(詳細)</a>	MR-GM5L series (MR-GM5L-S1)

3件中 1 ~ 3 件目 表示

### 3.ユーザー設定(管理者のみ)

MRL-IDM に鈴木さん、渡辺さん、木村さんのユーザーアカウントを登録します。

**本設定は管理者のみが可能です。(本設定例では東京本社の佐藤さんのみが設定可能です。)**

佐藤さんの管理者アカウントは、MRL-IDM 利用開始時に登録済みです。

①MRL-IDM のメニューから「ユーザーアカウント管理」をクリックして下さい。

ユーザーアカウント管理

アカウント一覧 1件

10 行ごとに表示

状態	ID	Role	担当者名
有効	T...	管理者	佐藤

1件中1~1件目表示

②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③担当者名に「鈴木さん」と入力し、メールアドレスに鈴木さんのメールアドレスを入力して下さい。デバイスグループで「東京支社 A」にチェックを入れて、「登録ボタン」をクリックして下さい。

アカウント 新規登録

ID 自動発行

担当者名 **必須** 鈴木さん

メール **必須** suzuki@example.com

デバイスグループ 東京支社A

アカウント状態 有効

登録 閉じる

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

④「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



⑤担当者名に「渡辺さん」と入力し、メールアドレスに渡辺さんのメールアドレスを入力して下さい。  
デバイスグループで「東京支社 B」にチェックを入れて、「登録ボタン」をクリックして下さい。

アカウント 新規登録

ID

担当者名 **必須**

メール **必須**

デバイスグループ

アカウント状態

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

⑥「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



⑦担当者名に「木村さん」と入力し、メールアドレスに木村さんのメールアドレスを入力して下さい。  
デバイスグループで「大阪支社 A」にチェックを入れて、「登録ボタン」をクリックして下さい。

アカウント 新規登録

ID

担当者名 **必須**

メール **必須**

デバイスグループ

アカウント状態

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

⑧「鈴木さん」の「編集」ボタンをクリックして下さい。

アカウント一覧 4件

10 行ごとに表示 フィルター検索:

状態	ID	Role	担当者名	メール	デバイスグループ	
有効	T [REDACTED]	管理者	佐藤	sato@example.com		編集
有効	T [REDACTED]	ユーザー	鈴木さん	suzuki@example.com	東京支社A	編集
有効	T [REDACTED]	ユーザー	渡辺さん	watanabe@example.com	東京支社B	編集
有効	T [REDACTED]	ユーザー	木村さん	kimura@example.com	大阪支社A	編集

⑨「鈴木さん」の MRL-IDM のログイン ID、パスワードを確認できますので、管理者（佐藤さん）より鈴木さんへ通知して下さい。

アカウント 編集

ID

担当者名 **必須**

メール **必須**

デバイスグループ

パスワード **必須**

※パスワードは半角の英字と数字と記号の3種類を組み合わせて設定して下さい。  
※使用できる記号は !#\$%\_ となります。

アカウント状態

⑩同じ手順で「渡辺さん」「木村さん」のログイン ID、パスワードを確認できますので、管理者（佐藤さん）より各々のユーザーへログイン ID、パスワードを通知して下さい。

以上でユーザー設定は完了です。

## 4.デバイスの登録

デバイスを登録する手順について説明します。

東京支店 A には MR-GM5A-L1 を、東京支店 B には MR-GM3-DKS を、大阪支店 A には MR-GM5L-S1 を登録します。



1つのデバイスグループに異なる機種を混在させる事はできません。  
デバイスグループは、機種ごと(MR-GM3 シリーズ、MR-GM3L シリーズ、MR-GM5A、MR-GM5L)で  
分けて登録下さい。

MRL-IDM は、デバイスを MAC アドレスで判別します。

MRL-IDM にデバイスを登録するには、デバイスの有線 LAN ポートの MAC アドレスの情報が必須です。

また、シリアル No も登録すると、よりデバイスを管理しやすくなります。

デバイスを登録する前に、デバイスの MAC アドレスとシリアル No を確認して下さい。

- デバイス本体の底面シールに MAC アドレスとシリアル No (S/N) が記載されています。(MR-GM3 の例)



- 設定画面トップ(状態表示・ステータス)画面でも、有線 LAN ポートの MAC アドレスは確認できます。

### 【MR-GM5 の例】

有線LAN	
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	001038
DHCPサーバー	有効
IPv6 アドレス	
IPv6 リンクローカルアドレス	

### 【MR-GM3 の例】

有線LAN	
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	00:10:38:xx:xx:xx



シリアル No は、底面のシール以外に確認する事はできません。

## 4-1.東京支社 A のデバイス登録

①MRL-IDM のメニューから「デバイス管理」をクリックして下さい。

②東京支社 A の MR-GM5A-L1 の登録を行います。

東京支社 A のデバイス登録は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 A のユーザーである鈴木さんのみが行えます。  
「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③設置場所、機器名称に判別しやすい名前を入力して下さい。

MAC アドレスに事前に確認したデバイスの MAC アドレスを入力して下さい。(間違えないようにご注意ください。)

デバイスグループで「東京支社 A」を選択して下さい。

アラート通知で「有効」を選択して下さい。

S/N に事前に確認したデバイスのシリアル No を入力して下さい。(任意)

導入日を入力して下さい。(任意)

入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 A のデバイス登録は完了です。

## 4-2.東京支社 B のデバイス登録

①MRL-IDM のメニューから「デバイス管理」をクリックして下さい。

②東京支社 B の MR-GM3-DKS の登録を行います。

東京支社 B のデバイス登録は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 B のユーザーである渡辺さんのみが行えます。  
「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③設置場所、機器名称に判別しやすい名前を入力して下さい。

MAC アドレスに事前に確認したデバイスの MAC アドレスを入力して下さい。(間違えないようにご注意ください。)

デバイスグループで「東京支社 B」を選択して下さい。

アラート通知で「有効」を選択して下さい。

S/N に事前に確認したデバイスのシリアル No を入力して下さい。(任意)

導入日を入力して下さい。(任意)

入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 B のデバイス登録は完了です。

### 4-3.大阪支社 A のデバイス登録

①MRL-IDM のメニューから「デバイス管理」をクリックして下さい。



②大阪支社 A の MR-GM5L-S1 の登録を行います。

大阪支社 A のデバイス登録は管理者である佐藤さん、もしくは大阪支社 A のユーザーである木村さんのみが行えます。  
「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③設置場所、機器名称に判別しやすい名前を入力して下さい。

MAC アドレスに事前に確認したデバイスの MAC アドレスを入力して下さい。(間違えないようにご注意ください。)

デバイスグループで「大阪支社 A」を選択して下さい。

アラート通知で「有効」を選択して下さい。

S/N に事前に確認したデバイスのシリアル No を入力して下さい。(任意)

導入日を入力して下さい。(任意)

入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で大阪支社 A のデバイス登録は完了です。

#### 4-4. デバイス一覧の表示について

管理者である佐藤さんは全てのデバイスが表示されますが、それぞれの支社のユーザーは自身が所属するデバイスグループに登録されたデバイス以外は表示されません。

##### 【管理者(佐藤さん)から見たデバイス一覧画面】

デバイス一覧 3台 / 登録可能台数=100台

10 行ごとに表示

設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称
東京支社A	東京支社A	MR-GM5A-L1	MR-GM5A-L1
東京支社B	東京支社B	MR-GM3-DKS	MR-GM3-DKS
大阪支社A	大阪支社A	MR-GM5L-S1	MR-GM5L-S1

##### 【東京支社 A のユーザー(鈴木さん)から見たデバイス一覧画面】

デバイス一覧 1台 / 登録可能台数=100台

10 行ごとに表示

設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称
東京支社A	東京支社A	MR-GM5A-L1	MR-GM5A-L1

1件中 1 ~ 1 件目 表示

##### 【東京支社 B のユーザー(渡辺さん)から見たデバイス一覧画面】

デバイス一覧 1台 / 登録可能台数=100台

10 行ごとに表示

設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称
東京支社B	東京支社B	MR-GM3-DKS	MR-GM3-DKS

1件中 1 ~ 1 件目 表示

##### 【大阪支社 A のユーザー(木村さん)から見たデバイス一覧画面】

デバイス一覧 1台 / 登録可能台数=100台

10 行ごとに表示

設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称
大阪支社A	大阪支社A	MR-GM5L-S1	MR-GM5L-S1

1件中 1 ~ 1 件目 表示

## 5. 死活監視設定

死活監視設定を行います。

死活監視のアラート条件は、デバイスグループ毎に異なる設定が可能です。

以下の設定を例に説明します。

東京支社 A: 15 分間隔で監視する。死活監視アラートは、佐藤さん、鈴木さんへメールで通知する。

東京支社 B: 30 分間隔で監視する。死活監視アラートは、佐藤さん、渡辺さんへメールで通知する。

大阪支社 A: 30 分間隔で監視する。死活監視アラートは、佐藤さん、木村さんへメールで通知する。



監視間隔はビジネスプラン(有償プラン)のみ変更可能です。  
スタンダードプラン(無償プラン)の場合、30 分固定となります。  
スタンダードプラン(無償プラン)の場合、通知先は 1 箇所までとなります。

### 5-1. 東京支社 A の設定

東京支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 A のユーザーである鈴木さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「死活監視アラート条件設定」をクリックして下さい。

The screenshot shows the MRL-IDM interface. On the left, there is a navigation menu with several items: 'デバイス監視', 'サジェスト', '設定', 'ユーザーアカウント管理', 'デバイスグループ管理', 'デバイス管理', 'ファームウェア更新', '監視・アラート管理 >', '死活監視アラート条件設定' (highlighted with a red box), 'ステータスアラート条件設定', and 'HTTP監視URL設定'. The main content area is titled '死活監視アラート条件設定'. It features a '検索条件' (Search Condition) section with a 'デバイスグループ' dropdown menu. Below this, there is a table header '死活監視アラート条件一覧 0件' and a table with 0 items displayed. A '10 行ごとに表示' (Display 10 rows) option is visible above the table.

②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスシリーズで「MR-GM5/GM3 series」を選択して下さい。  
デバイスグループで「東京支社 A」にチェックを入れて下さい。  
監視種別で「HTTP 監視」を選択して下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社A

監視種別 **必須** HTTP監視

- ④監視間隔の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社A

監視種別 **必須** HTTP監視

監視間隔 **必須**  **新規登録**

- ⑤「HTTP 監視 URL 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。  
名称に管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「15分監視」と設定します。)  
デバイスシリーズで「MR-GM5/GM3 series」を選択して下さい。  
送信プロトコルで「HTTPS」を選択して下さい。  
HTTP 監視間隔で「15分」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

HTTP監視URL 新規登録

名称 **必須** 15分監視

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

送信プロトコル **必須** HTTPS

HTTP監視URL **必須** 自動発行

HTTP監視間隔 **必須** デバイス側の発行間隔より長くしてください(1分-60分)  
15分

状態 **必須** 有効

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

⑥「死活監視アラート条件 新規登録」画面に戻りますので、通知先、警告時の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社A

監視種別 **必須** HTTP監視

監視間隔 **必須** 15分監視 [新規登録](#)  
この設定では、監視は15分に1回となります。 [編集](#)

通知先 **必須** 警告時: [新規登録](#)  
停止時: [新規登録](#)

状態 **必須** 有効

⑦「アラート通知先 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。

通知先名は管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「東京支社 A」と設定します。)

通知先で「メール」を選択し、佐藤さんのメールアドレスを入力して下さい。

「+」ボタンを押して、鈴木さんのメールアドレスを入力して下さい。

通知する時間帯と曜日を選択して下さい。(本設定例ではビジネスタイムのみ通知するように設定します。)

入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

アラート通知先 新規登録

通知先名 **必須** 東京支社A

通知先 **必須** メール (最大4個まで)  
sato@example.com

通知先 **必須** メール  
suzuki@example.com

通知時間 **必須** 09:00 ~ 18:00

通知曜日 **必須** 月 火 水 木 金 土 日

状態 **必須** 有効

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	スタンダードプラン(無償プラン)の場合、通知先は1箇所までとなります。
	死活監視に1回失敗した場合に警告通知が行われます。

- ⑧「死活監視アラート条件 新規登録」画面に戻りますので、停止時の通知先で「東京支社 A」を選択して下さい。  
設定が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社A

監視種別 **必須** HTTP監視

監視間隔 **必須** 15分監視 [新規登録](#)  
この設定では、監視は15分に1回となります。 [編集](#)

警告時: [新規登録](#)

通知先 **必須** 東京支社A  
**停止時:** [新規登録](#)

状態 **必須** 有効

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	死活監視に2回連続で失敗した場合に停止通知が行われます。
---	------------------------------

以上で東京支社 A の死活監視設定は完了です。

## 5-2.東京支社 B の設定

東京支社 B の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 B のユーザーである渡辺さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「死活監視アラート条件設定」をクリックして下さい。

The screenshot displays the '死活監視アラート条件設定' (Dead/Alive Monitoring Alert Condition Setting) page. On the left, a navigation menu includes options like 'デバイス監視', 'サジェスト', 'ユーザーアカウント管理', 'デバイスグループ管理', 'デバイス管理', 'ファームウェア更新', '監視・アラート管理 >', '死活監視アラート条件設定' (highlighted with a red box), 'ステータスアラート条件設定', and 'HTTP監視URL設定'. The main content area is titled '死活監視アラート条件設定' and features a search condition section with a 'デバイスグループ' dropdown. Below this, a table header indicates '死活監視アラート条件一覧 0件'. A pagination control shows '10' items per page. The table body is currently empty, with a '0件表示' (0 items displayed) message at the bottom.

②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③デフォルト設定は空欄にして下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5/GM3 series」を選択して下さい。  
デバイスグループで「東京支社 B」にチェックを入れて下さい。  
監視種別で「HTTP 監視」を選択して下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社 B

監視種別 **必須** HTTP監視

- ④監視間隔の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 東京支社 B

監視種別 **必須** HTTP監視

監視間隔 **必須**  **新規登録**

- ⑤「HTTP 監視 URL 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。  
名称に管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「30分監視」と設定します。)  
デバイスシリーズで「MR-GM5/GM3 series」を選択して下さい。  
送信プロトコルで「HTTPS」を選択して下さい。  
HTTP 監視間隔で「30分」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

HTTP監視URL 新規登録

名称 **必須** 30分監視

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

送信プロトコル **必須** HTTPS

HTTP監視URL **必須** 自動発行

HTTP監視間隔 **必須** デバイス側の発行間隔より長くしてください(1分-60分)  
30分

状態 **必須** 有効

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

⑥「死活監視アラート条件 新規登録」画面に戻りますので、通知先、警告時の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

⑦「アラート通知先 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。

通知先名は管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「東京支社 B」と設定します。)

通知先で「メール」を選択し、佐藤さんのメールアドレスを入力して下さい。

「+」ボタンを押して、渡辺さんのメールアドレスを入力して下さい。

通知する時間帯と曜日を選択して下さい。(本設定例ではビジネスタイムのみ通知するように設定します。)

入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	スタンダードプラン(無償プラン)の場合、通知先は1箇所までとなります。
	死活監視に1回失敗した場合に警告通知が行われます。

⑧「死活監視アラート条件 新規登録」画面に戻りますので、停止時の通知先で「東京支社 B」を選択して下さい。  
設定が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録×

デフォルト設定	<input type="text"/>
デバイスシリーズ <b>必須</b>	MR-GM5/GM3 series ▼
デバイスグループ <b>必須</b>	東京支社B ▼
監視種別 <b>必須</b>	HTTP監視 ▼
監視間隔 <b>必須</b>	30分監視 ▼ <a href="#">新規登録</a> この設定では、監視は30分に1回となります。 <a href="#">編集</a>
通知先 <b>必須</b>	警告時: <a href="#">新規登録</a> 東京支社B ▼
	停止時: <a href="#">新規登録</a> 東京支社B ▼
状態 <b>必須</b>	有効 ▼

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	死活監視に2回連続で失敗した場合に停止通知が行われます。
---	------------------------------

以上で東京支社 B の死活監視設定は完了です。

### 5-3.大阪支社 A の設定

大阪支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは大阪支社 A のユーザーである木村さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「死活監視アラート条件設定」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③デフォルト設定は空欄にして下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5/GM3 series」を選択して下さい。  
デバイスグループで「大阪支社 A」にチェックを入れて下さい。  
監視種別で「HTTP 監視」を選択して下さい。

The screenshot shows a form titled '死活監視アラート条件 新規登録'. It has a close button (X) in the top right. The form contains four rows of input fields:

- デフォルト設定: empty dropdown
- デバイスシリーズ **必須**: MR-GM5/GM3 series
- デバイスグループ **必須**: 大阪支社A
- 監視種別 **必須**: HTTP監視

④監視間隔で「30分監視」を選択し、通知先、警告時の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスシリーズ **必須** MR-GM5/GM3 series

デバイスグループ **必須** 大阪支社A

監視種別 **必須** HTTP監視

監視間隔 **必須** 30分監視 [新規登録](#)  
この設定では、監視は30分に1回となります。 [編集](#)

警告時: [新規登録](#)

通知先 **必須**

停止時: [新規登録](#)

状態 **必須** 有効

⑤「アラート通知先 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。  
通知先名は管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「大阪支社A」と設定します。)  
通知先で「メール」を選択し、佐藤さんのメールアドレスを入力して下さい。  
「+」ボタンを押して、木村さんのメールアドレスを入力して下さい。  
通知する時間帯と曜日を選択して下さい。(本設定例ではビジネスタイムのみ通知するように設定します。)  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

アラート通知先 新規登録

通知先名 **必須** 大阪支社A

メール  + (最大4個まで)

通知先 **必須** [テスト送信](#)  
sato@example.com

メール  -  
kimura@example.com

通知時間 **必須** 09:00 ~ 18:00

通知曜日 **必須** 月 火 水 木 金 土 日

状態 **必須** 有効

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	スタンダードプラン(無償プラン)の場合、通知先は1箇所までとなります。
	死活監視に1回失敗した場合に警告通知が行われます。

- ⑧「死活監視アラート条件 新規登録」画面に戻りますので、停止時の通知先で「大阪支社 A」を選択して下さい。  
設定が完了したら「登録」ボタンをクリックして下さい。

死活監視アラート条件 新規登録×

デフォルト設定	<input type="text"/>
デバイスシリーズ <b>必須</b>	MR-GM5/GM3 series
デバイスグループ <b>必須</b>	大阪支社A
監視種別 <b>必須</b>	HTTP監視
監視間隔 <b>必須</b>	30分監視 <a href="#">新規登録</a> <small>この設定では、監視は30分に1回となります。 <a href="#">編集</a></small>
通知先 <b>必須</b>	警告時: <a href="#">新規登録</a> 大阪支社A
	停止時: <a href="#">新規登録</a> 大阪支社A
状態 <b>必須</b>	有効

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

	死活監視に 2 回連続で失敗した場合に停止通知が行われます。
--	--------------------------------

以上で大阪支社Aの死活監視設定は完了です。

## 6.ステータスアラート条件設定



ステータス監視を行わない場合、本設定は不要です。

ステータスアラート条件設定を行います。  
ステータスのアラート条件は、デバイスグループ毎に異なる設定が可能です。  
以下の設定を例に説明します。

東京支社 A:2 時間間隔でステータスメールを取り込む。  
WAN 側回線の接続時とデバイスの再起動時に通知する。  
ステータスアラートは、佐藤さん、鈴木さんへメールで通知する。

東京支社 B:8 時間間隔でステータスメールを取り込む。  
WAN 側回線の接続時とデバイスの再起動時に通知する。  
ステータスアラートは、佐藤さん、渡辺さんへメールで通知する。

大阪支社 A:8 時間間隔でステータスメールを取り込む。  
WAN 側回線の接続時とデバイスの再起動時に通知する。  
ステータスアラートは、佐藤さん、木村さんへメールで通知する。



ステータスの監視間隔はビジネスプラン(有償プラン)のみ変更可能です。(2~8 時間)  
スタンダードプラン(無償プラン)の場合、8 時間固定となります。  
アラート通知先設定は「5.死活監視設定」で設定済みである前提で説明します。  
スタンダードプラン(無償プラン)の場合、通知先は 1 箇所までとなります。

### 5-1.東京支社 A の設定

東京支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 A のユーザーである鈴木さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「東京支社 A」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5 series」を選択して下さい。  
詳細名で「GM5:メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「WAN interface Active」と入力して下さい。

### ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

詳細名 **必須**

送信条件 **必須**

値 **必須**

監視間隔  
(ステータスメールログ) **必須**

通知先 **必須**

- ④監視間隔の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

### ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

詳細名 **必須**

送信条件 **必須**

値 **必須**

監視間隔  
(ステータスメールログ) **必須**

通知先 **必須**

- ⑤「ステータスメールログ設定 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。  
名称に管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「2時間監視」と設定します。)  
取り込み間隔で「2」(時間)を設定して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑥「ステータスアラート条件 新規登録」画面に戻りますので、通知先で「東京支社 A」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑦「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ⑦デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「東京支社 A」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5 series」を選択して下さい。  
詳細名で「GM5:メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「Smtpexec Power on Started 00 seconds ago」と入力して下さい。  
監視間隔で「2 時間監視」を選択して下さい。  
通知先で「東京支社 A」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

詳細名 **必須**

送信条件 **必須**

値 **必須**

監視間隔 (ステータスメールログ) **必須**  [新規登録](#)  
この設定では、監視は2時間に1回となります。 [編集](#)

通知先 **必須**  [新規登録](#)

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 A のステータスアラート条件設定は完了です。

## 5-2.東京支社 B の設定

東京支社 B の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 B のユーザーである渡辺さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'ステータスアラート条件設定' (Status Alert Condition Setting) page. On the left is a navigation menu with options like 'デバイス監視', 'サジェスト', 'ユーザーアカウント管理', 'デバイスグループ管理', 'デバイス管理', 'ファームウェア更新', '監視・アラート管理 >', '死活監視アラート条件設定', 'ステータスアラート条件設定' (highlighted with a red box), 'HTTP監視URL設定', and 'ステータスメールログ設定'. The main content area is titled 'ステータスアラート条件設定' and includes a search section with 'デバイスグループ' and '送信条件' dropdowns. Below that, it shows 'ステータスアラート条件一覧 0件' and a table with columns 'デバイスグループ' and '詳細名'. A '10' dropdown is set to '行ごとに表示', and '0件表示' is shown at the bottom.

②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「東京支社 B」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM3 series」を選択して下さい。  
詳細名で「メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「WAN interface Active」と入力して下さい。

### ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

詳細名 **必須**

送信条件 **必須**

値 **必須**

監視間隔 (ステータスメールログ)  [新規登録](#)  
**必須**

通知先 **必須**  [新規登録](#)

- ④監視間隔の「新規登録」リンクをクリックして下さい。

### ステータスアラート条件 新規登録

デフォルト設定

デバイスグループ **必須**

デバイスシリーズ **必須**

詳細名 **必須**

送信条件 **必須**

値 **必須**

監視間隔 (ステータスメールログ)  [新規登録](#)  
**必須**

通知先 **必須**  [新規登録](#)

- ⑤「ステータスメールログ設定 新規登録」画面に遷移しますので、以下の設定を行って下さい。  
名称に管理者が判別しやすい名前を入力して下さい。(本設定例では「8 時間監視」と設定します。)  
取り込み間隔で「8」(時間)を設定して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。



登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑥「ステータスアラート条件 新規登録」画面に戻りますので、通知先で「東京支社B」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。



登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ⑦「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ⑦デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「東京支社 B」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM3 series」を選択して下さい。  
詳細名で「メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「Smtpexec Power on Started 00 seconds ago」と入力して下さい。  
監視間隔で「8 時間監視」を選択して下さい。  
通知先で「東京支社 B」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

ステータスアラート条件 新規登録×

デフォルト設定		<input type="text"/>
デバイスグループ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="東京支社B"/>
デバイスシリーズ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="MR-GM3 series"/>
詳細名 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="メール送信のトリガー"/>
送信条件 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="一致"/>
値 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="Smtpexec Power on Started 00 seconds ago"/>
監視間隔 (ステータスメールログ) <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="8時間監視"/> <a href="#">新規登録</a> <small>この設定では、監視は 8時間に1回となります。</small> <a href="#">編集</a>
通知先 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="東京支社B"/> <a href="#">新規登録</a>

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 B のステータスアラート条件設定は完了です。

### 5-3.大阪支社 A の設定

大阪支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは大阪支社 A のユーザーである木村さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'ステータスアラート条件設定' (Status Alert Condition Setting) page. On the left, a navigation menu lists various settings, with 'ステータスアラート条件設定' (Status Alert Condition Setting) highlighted in a red box. The main content area is titled 'ステータスアラート条件設定' and includes a search section with 'デバイスグループ' (Device Group) and '送信条件' (Send Condition) dropdowns. Below this, a table header shows 'ステータスアラート条件一覧 0件' (Status Alert Condition List 0 items) and a '10 行ごとに表示' (Display 10 rows) option. The table has columns for 'デバイスグループ' (Device Group) and '詳細名' (Detailed Name), but it is currently empty. At the bottom, it says '0件表示' (Display 0 items).

②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③ デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「大阪支社 A」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5 series」を選択して下さい。  
詳細名で「GM5:メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「WAN interface Active」と入力して下さい。  
監視間隔で「8 時間監視」を選択して下さい。  
通知先で「大阪支社 A」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

ステータスアラート条件 新規登録×

デフォルト設定		<input type="text"/>
デバイスグループ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="大阪支社A"/>
デバイスシリーズ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="MR-GM5 seriee"/>
詳細名 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="GM5:メール送信のトリガー"/>
送信条件 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="一致"/>
値 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="WAN interface Active"/>
監視間隔 (ステータスメールログ) <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="8時間監視"/> <span style="color: blue; font-weight: bold;">新規登録</span> <small>この設定では、監視は8時間に1回となります。 <a href="#">編集</a></small>
通知先 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="大阪支社A"/> <span style="color: blue; font-weight: bold;">新規登録</span>

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

- ④ 「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ⑤ デフォルト設定は空欄にしてください。  
デバイスグループで「大阪支社 A」にチェックを入れて下さい。  
デバイスシリーズで「MR-GM5 series」を選択して下さい。  
詳細名で「GM5:メール送信のトリガー」を選択して下さい。  
送信条件で「一致」を選択して下さい。  
値に「Smtpxec Power on Started 00 seconds ago」と入力して下さい。  
監視間隔で「8 時間監視」を選択して下さい。  
通知先で「大阪支社 A」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

ステータスアラート条件 新規登録×

デフォルト設定		<input type="text"/>
デバイスグループ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="大阪支社A"/>
デバイスシリーズ <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="MR-GM5 serie"/>
詳細名 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="GM5:メール送信のトリガー"/>
送信条件 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="一致"/>
値 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="Smtpxec Power on Started 00 seconds ago"/>
監視間隔 (ステータスメールログ) <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="8時間監視"/> <a href="#">新規登録</a> <small>この設定では、監視は 8時間に1回となります。</small> <a href="#">編集</a>
通知先 <span style="color: red; font-weight: bold;">必須</span>		<input type="text" value="大阪支社A"/> <a href="#">新規登録</a>

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で大阪支社 A のステータスアラート条件設定は完了です。

## 7.ファームウェア更新 URL 設定

ファームウェア自動更新を行うためのファームウェア更新 URL の設定について説明します。  
本設定例では、東京支店 A は MR-GM5A-L1 を、東京支店 B は MR-GM3-DKS を、大阪支店Aは MR-GM5L-S1 とそれぞれ異なる機種を設置しますので、それぞれのデバイスグループにファームウェア更新用の URL を設定する必要があります。

	ファームウェア自動更新を行わない場合、本設定は不要です。
	MRL-IDM のファームウェア管理でバージョンを指定するだけでは更新されません。 必ずデバイス側の設定メニュー「ファームウェア更新」で MRL-IDM 上で設定した FW 更新 URL を登録して下さい。
	<b>ファームウェアの対象機種を間違えると、ファームウェア更新が失敗し、修理が必要となる場合がありますので、注意して下さい。</b>

### 7-1.東京支社 A の設定 (MR-GM5A を使用)

東京支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 A のユーザーである鈴木さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



- ③デバイスシリーズ(FW 対応機種)で「MR-GM5A:[MR-GM5A-L1]」を選択して下さい。  
デバイスグループで「東京支社 A」にチェックを入れて下さい。  
FW バージョン名で FW バージョンを選択して下さい。

	ここで選択したファームウェアバージョンと使用するデバイスのバージョンが異なる場合、次回ファームウェア更新スケジュールでファームウェアの更新が行われます。 デバイスと同じバージョンであった場合、ファームウェア更新は行われません。 <b>ファームウェアのバージョンダウンは動作保証外となります。</b>
---	---

送信プロトコルで「HTTPS」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

ファームウェア更新URL 新規登録×

デバイスシリーズ(FW対応機種) <b>必須</b>	MR-GM5A:[MR-GM5A-L1]
デバイスグループ <b>必須</b>	東京支社A
FWバージョン名 <b>必須</b>	v2.00.09 (MR001)
送信プロトコル <b>必須</b>	HTTPS
URL	自動発行
状態 <b>必須</b>	有効

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 A のファームウェア更新 URL 設定は完了です。

## 7-2.東京支社 B の設定（MR-GM3 を使用）

東京支社 B の設定は管理者である佐藤さん、もしくは東京支社 B のユーザーである渡辺さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③デバイスシリーズ(FW 対応機種)で「MR-GM3 :[MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)」を選択して下さい。  
デバイスグループで「東京支社 B」にチェックを入れて下さい。  
FW バージョン名で FW バージョンを選択して下さい。

	ここで選択したファームウェアバージョンと使用するデバイスのバージョンが異なる場合、次回ファームウェア更新スケジュールでファームウェアの更新が行われます。 デバイスと同じバージョンであった場合、ファームウェア更新は行われません。
	ファームウェアのバージョンダウンは動作保証外となります。

送信プロトコルで「HTTPS」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

The screenshot shows a form titled 'ファームウェア更新URL 新規登録' with a close button (X) in the top right. The form contains the following fields:

- デバイスシリーズ(FW対応機種) **必須**: MR-GM3:[MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W]
- デバイスグループ **必須**: 東京支社B
- FWバージョン名 **必須**: v1.04.02(MR001)
- 送信プロトコル **必須**: HTTPS
- URL: 自動発行
- 状態 **必須**: 有効

登録してよろしいですか？と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で東京支社 B のファームウェア更新 URL 設定は完了です。

### 7-3.大阪支社 A 設定 (MR-GM5L を使用)

大阪支社 A の設定は管理者である佐藤さん、もしくは大阪支社 A のユーザーである木村さんのみが行えます。

①MRL-IDM のメニューから「監視・アラート管理」の「ステータスアラート条件設定」をクリックして下さい。



②「新規登録」ボタンをクリックして下さい。



③デバイスシリーズ(FW 対応機種)で「MR-GM5L :[MR-GM5L-S1]」を選択して下さい。  
デバイスグループで「大阪支社 A」にチェックを入れて下さい。  
FW バージョン名で FW バージョンを選択して下さい。

	ここで選択したファームウェアバージョンと使用するデバイスのバージョンが異なる場合、次回ファームウェア更新スケジュールでファームウェアの更新が行われます。 デバイスと同じバージョンであった場合、ファームウェア更新は行われません。
	ファームウェアのバージョンダウンは動作保証外となります。

送信プロトコルで「HTTPS」を選択して下さい。  
入力が終わりましたら「登録」ボタンをクリックして下さい。

#### ファームウェア更新URL 新規登録

デバイスシリーズ(FW対応機種) <b>必須</b>	MR-GM5L :[MR-GM5L-S1]
デバイスグループ <b>必須</b>	大阪支社A
FWバージョン名 <b>必須</b>	v2.00.09 (MR001)
送信プロトコル <b>必須</b>	HTTPS
URL	自動発行
状態 <b>必須</b>	有効

登録してよろしいですか?と表示されますので「OK」をクリックして下さい。

以上で大阪支社 A のファームウェア更新 URL 設定は完了です。

## 8.MR-GM5A の設定(東京支社 A)

MRL-IDM を利用するために必要な、デバイス(MR-GM5A)の各種設定について説明します。

### 8-1.HTTP 回線監視の設定

MRL-IDM で死活監視を行うための、HTTP 回線監視の設定について説明します。



デバイスの死活監視を行わない場合は、本設定は不要です。

①「ネットワーク設定」から「WAN 設定」を開いて下さい。

②回線監視機能」の設定を行って下さい。

#### ■回線監視機能

プルダウンメニューで「HTTPによる監視」を選択して下さい。

#### ■初期発行間隔

回線接続後に回線監視を開始するまでの待ち時間(1/5/15/30/45/60 分)を設定します。  
「未使用」を選択した場合、発行間隔の設定で開始します。

#### ■発行間隔

発行間隔を選択して下さい。(1/5/10/15/30/45/60 分)MRL-IDM で設定した監視間隔より短く設定して下さい。  
**(本設定例の場合:MRL-IDM の死活監視間隔 15 分なので、MR-GM5A 側は 10 分にする。)**

#### ■連続失敗検出回数

任意の回数を設定して下さい。ここで設定した回数、連続して監視に失敗すると、回線切断状態と判断して、回線の再接続や再起動等のリカバリ処理を行います。

#### ■宛先1～3

宛先1に MRL-IDM の「監視・アラート管理」内「HTTP 監視 URL 設定」の「15 分監視」の URL をコピー・貼り付けして下さい。



宛先は MRL-IDM の HTTP 監視 URL 以外も設定して下さい。  
MRL-IDM の監視 URL のみ設定した場合、MRL-IDM のメンテナンス等で HTTP 通信が不通になるとデバイスが回線障害と判断して回線の再接続やシステムの再起動等のリカバリ動作を行います。

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 8-2.NTP クライアント機能の設定

ステータスメールを送信するためとタイマーファームウェア自動更新を行うための、NTP クライアント機能の設定について説明します。

	デバイスのステータス監視、タイマーファームウェア自動更新を行わない場合、本設定は不要です。
	メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。 日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。

- ①「マネージメント」から「時刻情報 設定」を開いて下さい。
- ②「NTP クライアント機能」で有効(ラジオボタン)を選択して下さい。



IoT Gateway  
MR-GM5A

ステータス  
+ 無線LAN  
+ ネットワーク  
+ ファイアウォール  
+ 付加機能  
- マネージメント  
システム 設定  
**時刻情報 設定**  
メール送信 設定  
システム ログ  
ファームウェア更新  
設定保存・読み込み  
ログイン 設定  
再起動

**時刻情報 設定**  
このページでは本機の時刻情報の設定が行えます。  
NTPクライアント機能を有効にすることでシステムの時刻を維持することができます。

現在時刻: 2025 年 6 月 26 日 16 時 48 分 8 秒  
タイムゾーン選択: Asia/Tokyo (UTC+09:00)  
NTPクライアント機能:  有効  無効  
SNTPサーバー: ntp1.jst.mfeed.ad.jp

設定保存 再読み込み

- ③NTPサーバーをプルダウンメニューから選択して下さい。

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

### 8-3.メール送信機能の設定

MRL-IDM でステータスメールを受信するための、メール送信機能の設定について説明します。

	デバイスのステータス監視を行わない場合、本設定は不要です。
	メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。 日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。

①「マネージメント」から「メール送信設定」を開いて下さい。

<p>ステータス + ネットワーク + ファイアウォール + 付加機能 - マネージメント システム 設定 時刻情報 設定 <b>メール送信機能 設定</b> システム ログ ファームウェア更新 設定保存・読み込み ログイン 設定</p>	<p><b>メール送信機能 設定</b> このページではメール送信機能の設定が行えます。</p> <table border="1"><tr><td>メール送信機能:</td><td><input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効</td></tr><tr><td>サーバーアドレス:</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>サーバーポート:</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr><tr><td>接続保護:</td><td>なし <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を</td></tr><tr><td>送信サーバー:</td><td>認証方式: なし <input type="text"/></td></tr><tr><td>ユーザー名:</td><td><input type="text"/></td></tr></table>	メール送信機能:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	サーバーアドレス:	<input type="text"/>	サーバーポート:	<input type="text" value="0"/>	接続保護:	なし <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を	送信サーバー:	認証方式: なし <input type="text"/>	ユーザー名:	<input type="text"/>
メール送信機能:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効												
サーバーアドレス:	<input type="text"/>												
サーバーポート:	<input type="text" value="0"/>												
接続保護:	なし <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を												
送信サーバー:	認証方式: なし <input type="text"/>												
ユーザー名:	<input type="text"/>												

②「メール送信設定」画面が開きます。

<p><b>メール送信機能 設定</b> このページではメール送信機能の設定が行えます。</p>	
メール送信機能:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
サーバーアドレス:	<input type="text" value="mail.mrlidm.jp"/>
サーバーポート:	<input type="text" value="587"/>
接続保護:	なし <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を行わない
送信サーバー:	認証方式: 平文 <input type="text"/>
ユーザー名:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="password" value="....."/>
送信元メールアドレス:	<input type="text" value=".....@mrlidm.jp"/> <input type="checkbox"/> メール送信グリーティングメッセージ(EHLO)に送信元メールアドレスのドメインを使用する
宛先メールアドレス:	<input type="text" value="system01@mrlidm.jp"/>
送信トリガー:	<input checked="" type="checkbox"/> WANインターフェース有効時のメール送信を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> 定期メール送信を有効にする 2 時 0 分 0 秒 (0~24時間) <input type="checkbox"/> 時刻指定メール送信を有効にする ※ <input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 メール送信実施時刻 0 時 0 分 <input checked="" type="checkbox"/> 装置起動時のメール送信を有効にする <input type="checkbox"/> 有線LANのLinkUP/LinkDOWNによるメール送信を有効にする
<input type="button" value="メール送信テストを行う"/>	
※: 本機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<input type="button" value="設定保存"/>	

- メール送信機能: 有効(ラジオボタン)を選択して下さい。
- サーバーアドレス: **mail.mrlidm.jp**
- サーバーポート番号: **587**
- 接続保護: **なし**
- 認証方法: **平文**
- ユーザー名、パスワード: **MRL-IDM より通知されたユーザー名、パスワードを入力して下さい。**
- 送信元メールアドレス: **MRL-IDM より通知された送信用メールアドレスをここに入力して下さい。**

- 宛先メールアドレス: **MRL-IDM より通知された宛先メールアドレスを入力して下さい。**  
(別途宛先を追加する場合は、(カンマ)で区切って入力して下さい。)
- WAN インターフェース有効時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
WAN 側回線の接続検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**
- 定期メール送信機能を有効にする(チェックボックス)  
メールによる死活監視を利用する、もしくはステータス監視機能を使用する場合はチェックを入れて、送信間隔の設定を行って下さい。
  - \* メールによる死活監視を行う場合、送信間隔はステータス通知ログ取り込み時間より短くして下さい。
  - \* 送信間隔を 0 時 0 分 0 秒で設定した場合、メール送信は行われません。
- 装置起動時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
装置の起動検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 8-4.自動ファームウェア更新機能の設定

MRL-IDM でファームウェア自動更新を行うための、タイマー自動ファームウェア更新機能の設定について説明します。

	デバイスのファームウェア自動更新を行わない場合は、本設定は不要です。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。
	ファームウェア更新が実行されると、回線の切断と機器の再起動が行われます。 スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。

①「マネージメント」から「ファームウェア更新」を開いて下さい。

<ul style="list-style-type: none"><li>ステータス</li><li>+ ネットワーク</li><li>+ ファイアウォール</li><li>+ 付加機能</li><li>- マネージメント</li><li>システム 設定</li><li>時刻情報 設定</li><li>メール送信機能 設定</li><li>システム ログ</li><li><b>ファームウェア更新</b></li><li>設定保存・読み込み</li><li>ログイン 設定</li><li>再起動</li></ul>	<h3>ファームウェア更新</h3> <p>このページではファームウェアの更新が行えます。 ファームウェア更新中は、本機の電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。</p> <p><b>今すぐファームウェア更新を行う</b></p> <p><input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選...れていません</p> <p><input type="button" value="ファームウェア更新開始"/> <input type="button" value="リセット"/></p> <h3>自動ファームウェア更新</h3> <p>自動ファームウェア更新: <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ※</p> <p>ファームウェアダウンロードURL: <input type="text"/></p>
--	--

②「自動ファームウェア更新」で有効(ラジオボタン)を選択して下さい。

<b>自動ファームウェア更新</b>	
自動ファームウェア更新:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ※
ファームウェアダウンロードURL:	<input type="text"/>
曜日:	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土
ファームウェア更新時刻:	<input type="text" value="0"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分
※:自動ファームウェア更新機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<input type="button" value="設定保存"/>	

③MRL-IDM にログインして「ファームウェア更新」メニューをクリックして下さい。

④東京支社 A (MR-GM5A-L1) のファームウェア更新 URL の URL コピーをクリックして下さい。

MR-GM5A series (MR-GM5A-L1)	東京支社A	v2.00.09 (MR001)	https://	FW.bin		有効	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
--------------------------------	-------	------------------	----------	--------	---	----	-----------------------------------	-----------------------------------



ファームウェアの対象機種を間違えると、ファームウェア更新に失敗して修理が必要となる場合がありますので、注意して下さい。

⑤コピーした URL をファームウェアダウンロード URL 欄にペースト(貼り付け)して下さい。

<b>自動ファームウェア更新</b>	
自動ファームウェア更新:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ※
ファームウェアダウンロードURL:	<input type="text" value="https://mrlidm.jp/fw-download/"/>
曜日:	<input type="checkbox"/> 毎日 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土
ファームウェア更新時刻:	<input type="text" value="23"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分
※:自動ファームウェア更新機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<input type="button" value="設定保存"/>	

⑥スケジュールを設定して下さい。

- ・毎日: 毎日バージョン確認を行います。
- ・日曜～土曜: 曜日を指定してバージョン確認を行います。
- ・更新実施時刻: バージョン確認を実行する時刻を入力して下さい。

 <p>注意</p>	<p>ファームウェア更新時は、回線の切断とデバイスの再起動が行われます。 スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。</p>
---	--

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

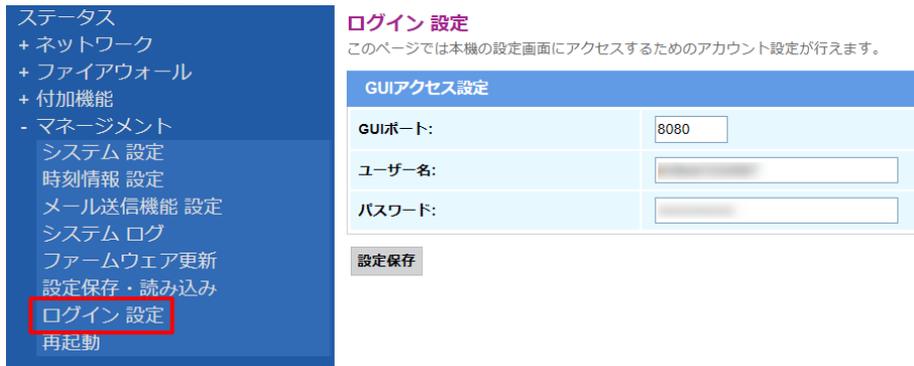
## 8-5.WAN 側からの設定（リモート設定）を許可する

MRL-IDM でリモート設定を行うための、「ログイン設定」と「アクセス制御設定」について説明します。

	デバイスのリモート設定を行わない場合、本設定は不要です。
	リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである必要があります。

	<b>WAN側から設定を許可する場合、設定画面にログインするためのユーザー名、パスワードは、必ず工場出荷値から変更して下さい。</b>
---	---

- ①「マネージメント」から「ログイン設定」を開いて下さい。  
「ログイン設定」画面が開きます。



- ②ユーザー名、パスワードを工場出荷値のまま利用している場合は、必ずユーザー名、パスワードを変更して下さい。

### ■ GUI ポート

設定画面にアクセスするための WEB ポート番号を工場出荷値から変更する場合、設定して下さい。(工場出荷値:80)

**※10080 は WEB ブラウザのセキュリティ上の問題で使用できないので設定しないで下さい。**

### ■ ユーザー名

設定画面にアクセスするためのユーザー名を入力して下さい。

### ■ パスワード

設定画面にアクセスするためのパスワードを入力して下さい。

- ③[設定保存]ボタンをクリックして画面が切り替わりましたら、[後で再起動]をクリックして下さい。

- ④「ファイアウォール設定」から「アクセス制御 設定」を開いて下さい。



⑤「アクセス制御機能」で有効(ラジオボタン)を選択して、「設定保存」ボタンをクリックして下さい。

**アクセス制御 設定**  
このページでは本機への通信を透過/遮断するプロトコルとIPアドレスの登録、編集、削除および表示が行なえます。

アクセス制御機能:  有効  無効

WAN側からのPING アタック検出:  1秒間に許容するPINGアクセス数。(0 - 100) ※

WAN側からのHTTP アタック検出:  30秒間に許容する最大TCP/IP(HTTP)コネクション数。(0 - 100) ※

※: 本機能は、WAN側からのアクセスを登録しているサービスに対して動作します。

⑥以下の各設定を行って下さい。

インターフェース:  ▾

送信元 IPアドレス/マスク:  /

サービス名:  Any  http  ping

動作:  遮断  透過

■インターフェース

プルダウンメニューで「WAN」を選択して下さい。

■送信元IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

■サービス名

「http」にチェックを入れて下さい。

■動作

「透過」を選択して下さい。

⑦設定が終わりましたら、「追加」ボタンをクリックして下さい。

アクセス制御 登録リストに登録されます。

アクセス制御 登録リスト				
選択	インターフェース	IPアドレス	サービス	動作
<input type="checkbox"/>	WAN	Any	http	透過

⑧「設定反映」ボタンをクリックして下さい。

再起動を行うと設定が反映されます。

**アクセス制御 設定**  
このページでは本機への通信を透過/遮断するプロトコルとIPアドレスの登録、編集、削除および表示が行なえます。

アクセス制御機能:  有効  無効

WAN側からのPING アタック検出:  1秒間に許容するPINGアクセス数。(0 - 100) ※

WAN側からのHTTP アタック検出:  30秒間に許容する最大TCP/IP(HTTP)コネクション数。(0 - 100) ※

※: 本機能は、WAN側からのアクセスを登録しているサービスに対して動作します。

## 9.MR-GM3 の設定(東京支社 B)

MRL-IDM を利用するために必要な、デバイス(MR-GM3)の各種設定について説明します。

### 9-1.HTTP 回線監視の設定

MRL-IDM で死活監視を行うための、HTTP 回線監視の設定について説明します。



デバイスの死活監視を行わない場合は、本設定は不要です。

①「ネットワーク設定」から「WAN 設定」を開いて下さい。

WAN設定	
WAN側(ETH1またはUSB)接続モード等	
プライマリ接続モード	DHCPクライアント
セカンダリ接続モード	未使用
<input type="checkbox"/> UPnPを有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> IPsecパススルーを有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> PPTPパススルーを有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> L2TPパススルーを有効にする	

②「回線監視機能」の設定を行って下さい。

回線監視機能	HTTPによる監視
発行間隔	15分
連続失敗検出回数	2 (1~60)
<input type="checkbox"/> 回線監視通信の送信元にLAN側IPアドレスを使用する	
宛先1	https://mrlidm.jp/monitoring/
宛先2	www. [ ]
宛先3	www. [ ]
[ 設定保存 ]	

#### ■回線監視機能

プルダウンメニューで「HTTPによる監視」を選択して下さい。

#### ■発行間隔

発行間隔を選択して下さい。(1/5/10/15/30/45/60 分) MRL-IDM で設定した監視間隔より短く設定して下さい。

(本設定例の場合:MRL-IDM の死活監視間隔 30 分なので、MR-GM3 側は 15 分にします。)

#### ■連続失敗検出回数

任意の回数を設定して下さい。

ここで設定した回数、連続して監視に失敗すると、回線切断状態と判断して、回線の再接続や再起動等のリカバリ処理を行います。

#### ■宛先1~3

宛先1に MRL-IDM の「監視・アラート管理」内「HTTP 監視 URL 設定」の「30 分監視」の URL をコピー・貼り付けして下さい。



宛先は MRL-IDM の HTTP 監視 URL 以外も設定して下さい。  
MRL-IDM の監視 URL のみ設定した場合、MRL-IDM のメンテナンス等で HTTP 通信が不通になるとデバイスが回線障害と判断して回線の再接続やシステムの再起動等のリカバリ動作を行います。

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。

再起動を行うと設定が反映されます。

## 9-2.NTP クライアント機能の設定

ステータスメールを送信するためとタイマーファームウェア自動更新を行うための、NTP クライアント機能の設定について説明します。

	デバイスのステータス監視、タイマーファームウェア自動更新を行わない場合、本設定は不要です。
	メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。 日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。

①「マネージメント」から「時刻情報・タイマー再起動設定」を開いて下さい。

②「NTP クライアント機能を有効にする」にチェックを入れて下さい。



**時刻情報・タイマー再起動設定**

本機の時刻情報の設定を行います。

NTPクライアント機能を有効に設定する場合、任意の曜日・時間に本機を自動的に再起動させることが可能です。

現在の時刻 2024 年 5 月 28 日 15 時 54 分 25 秒

タイムゾーン (GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo

NTPクライアント機能を有効にする

NTPサーバー  ntp1.jst.mfeed.ad.jp

0.0.0.0  
(NTPサーバーのアドレスを設定)

再起動機能

③NTPサーバーをプルダウンメニューから選択するか、任意のNTPサーバーのアドレスを入力して下さい。

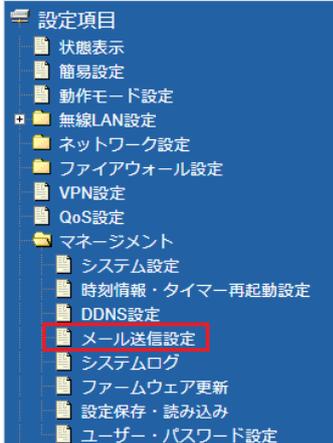
設定が完了しましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

### 9-3.メール送信機能の設定

MRL-IDM でステータスメールを受信するための、メール送信機能の設定について説明します。

	<p>デバイスのステータス監視を行わない場合、本設定は不要です。</p> <p>メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。</p> <p>日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。</p>
---	---

①「マネージメント」から「メール送信設定」を開いて下さい。



設定項目

- 状態表示
- 簡易設定
- 動作モード設定
- 無線LAN設定
- ネットワーク設定
- ファイアウォール設定
- VPN設定
- QoS設定
- マネージメント
  - システム設定
  - 時刻情報・タイマー再起動設定
  - DDNS設定
  - メール送信設定**
  - システムログ
  - ファームウェア更新
  - 設定保存・読み込み
  - ユーザー・パスワード設定

## メール送信設定

メール送信設定を行います。

- メール送信機能を有効にする
  - メール送信サーバー
  - メール送信サーバーポート番号
  - 送信元メールアドレス
  - 宛先メールアドレス
  - 接続保護

②「メール送信設定」画面が開きます。

## メール送信設定

メール送信設定を行います。

- メール送信機能を有効にする
  - メール送信サーバー: mail.mrlidm.jp
  - メール送信サーバーポート番号: 587 (1~65535)
  - 送信元メールアドレス: @mrlidm.jp
  - 宛先メールアドレス: system01@mrlidm.jp
  - 接続保護: なし
  - StartTLS(RFC 3207) 拡張をしない
- 認証方法: 平文
- ユーザー名: [ ]
- パスワード: [ ]
- メール送信グリーティングメッセージ(EHLO)に送信元メールアドレスのドメインを使用する
- WANインターフェース有効時のメール送信を有効にする
- 定期メール送信を有効にする
  - 送信間隔: 2 時 0 分 0 秒 (0~24時間)
- 時刻指定メール送信を有効にする
  - メール送信スケジュール
  - 毎日
  - 日曜  月曜  火曜  水曜  木曜  金曜  土曜
  - メール送信実施時刻: 0 時 0 分
- 装置起動時のメール送信を有効にする
  - プロセス再起動時のメール送信を有効にする
  - 有線LANのLinkUP/LinkDOWNによるメール送信を有効にする

メール送信テストを行う

設定保存

■メール送信機能を有効にする(チェックボックス)にチェックを入れて下さい。

■メール送信サーバー: **mail.mrlidm.jp**

■メール送信サーバーポート番号: **587**

- 送信元メールアドレス:**MRL-IDM より通知された送信用メールアドレスを入力して下さい。**
- 宛先メールアドレス:**MRL-IDM より通知された宛先メールアドレスを入力して下さい。**  
(別途宛先を追加する場合は、(カンマ)で区切って入力して下さい。)
- 接続保護:**なし**
- 認証方法:**平文**
- ユーザー名、パスワード:**MRL-IDM より通知されたユーザー名、パスワードを入力して下さい。**
- WAN インターフェース有効時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
WAN 側回線の接続検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**
- 定期メール送信機能を有効にする(チェックボックス)  
メールによる死活監視を利用する、もしくはステータス通知ログ機能を使用する場合はチェックを入れて、送信間隔の設定を行って下さい。
  - \*メールによる死活監視を行う場合、送信間隔はステータス通知ログ取り込み時間より短くして下さい。
  - \*送信間隔を0時0分0秒で設定した場合、メール送信は行われません。
- 装置起動時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
装置の起動検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 9-4. タイマー自動ファームウェア更新機能の設定

MRL-IDM でファームウェア自動更新を行うための、タイマー自動ファームウェア更新機能の設定について説明します。

	デバイスのファームウェア自動更新を行わない場合は、本設定は不要です。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。
	ファームウェア更新が実行されると、回線の切断と機器の再起動が行われます。スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。

①「マネージメント」から「ファームウェア更新」を開いて下さい。

設定項目

- 状態表示
- 簡易設定
- 動作モード設定
- 無線LAN設定
- ネットワーク設定
- ファイアウォール設定
- VPN設定
- QoS設定
- マネージメント
  - システム設定
  - 時刻情報・タイマー再起動設定
  - DDNS設定
  - メール送信設定
  - システムログ
  - ファームウェア更新
  - 設定保存・読み込み

### ファームウェア更新

ファームウェアの更新を行います。

**注意事項**

- ファームウェア更新中は、本機の電源を切ったり
- ファームウェア更新作業は必ず有線LAN経由で行っ
- ファームウェア更新を行うパソコンと本機を1対1で  
(本機に接続されている他のネットワーク機器は、
- ファームウェア更新後、ダウンロードした設定ファ  
必ず読み込んでください。

②「タイマー自動ファームウェア更新機能を有効にする」にチェックを入れて下さい。

**タイマー自動ファームウェア更新機能を有効にする**

ファームウェアダウンロードURL

スケジュール

毎日

日曜     月曜     火曜     水曜     木曜     金曜     土曜

更新実施時刻  時  分  
(0~23)                      (0~59)

③MRL-IDM にログインして「ファームウェア更新」メニューをクリックして下さい。

④東京支社 B (MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)) のファームウェア更新 URL の URL コピーをクリックして下さい。

MR-GM3 series (MR-GM3-D/K/S/DK/DKS/M/W)	東京支社B	v1.04.02(MR001)	https://	FW.bin		有効	編集	削除
--	-------	-----------------	----------	--------	---	----	----	----



注意

ファームウェアの対象機種を間違えると、ファームウェア更新に失敗して修理が必要となる場合がありますので、注意して下さい。

⑤コピーした URL をファームウェアダウンロード URL 欄にペースト(貼り付け)して下さい。

**タイマー自動ファームウェア更新機能を有効にする**

ファームウェアダウンロードURL

スケジュール

毎日

日曜     月曜     火曜     水曜     木曜     金曜     土曜

更新実施時刻  時  分  
(0~23)                      (0~59)

⑥スケジュールを設定して下さい。

- ・毎日: 毎日バージョン確認を行います。
- ・日曜～土曜: 曜日を指定してバージョン確認を行います。
- ・更新実施時刻: バージョン確認を実行する時刻を入力して下さい。

 <p>注意</p>	<p>ファームウェア更新時は、回線の切断とデバイスの再起動が行われます。 スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。</p>
---	--

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

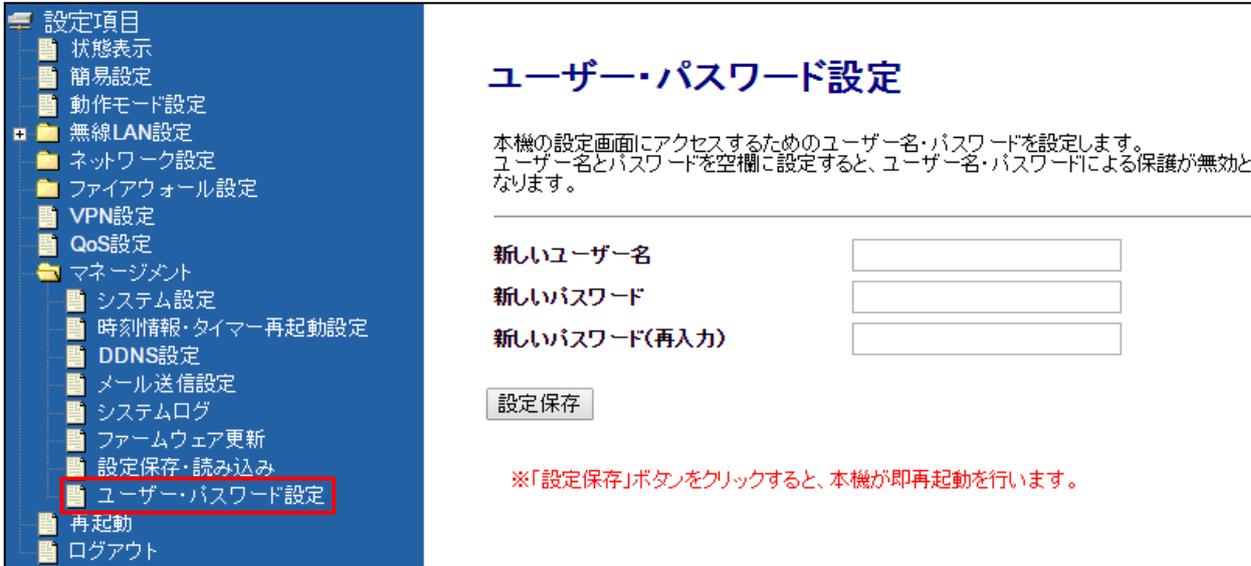
## 9-5.WAN 側からの設定（リモート設定）を許可する

MRL-IDM でリモート設定を行うための、「ユーザー・パスワード設定」と「IP フィルタリング設定」について説明します。

	デバイスのリモート設定を行わない場合、本設定は不要です。
	リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである必要があります。

	<b>WAN側から設定を許可する場合、設定画面にログインするためのユーザー名、パスワードは、必ず工場出荷値から変更して下さい。</b>
---	---

- ①「マネージメント」から「ユーザー・パスワード設定」を開いて下さい。  
「ユーザー・パスワード設定」画面が開きます。

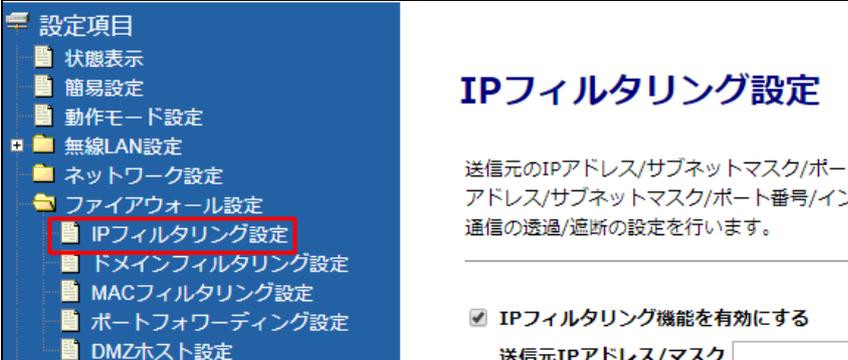


- ②ユーザー名、パスワードを工場出荷値のまま利用している場合は、必ずユーザー名、パスワードを変更して下さい。

- 新しいユーザー名  
設定画面にアクセスするためのユーザー名を入力して下さい。
- 新しいパスワード、新しいパスワード再入力  
設定画面にアクセスするためのパスワードを入力して下さい。

- ③[設定保存]ボタンをクリックすると即再起動します。  
再起動後、変更後のユーザー名、パスワードを要求されますので、設定画面にログインしなおして下さい。

- ④「ファイアウォール設定」から「IP フィルタリング設定」を開いて下さい。



⑤「IPフィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れ、以下のテーブルを追加して下さい。

<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルタリング機能を有効にする	
送信元IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
宛先IPアドレス/マスク	<input type="text"/> / <input type="text"/> (1~32)
プロトコル	TCP ▼
送信元ポート	<input type="text"/> - <input type="text"/> (0~65535)
宛先ポート	80 - 80 (0~65535)
送信元インターフェース	WAN ▼
宛先インターフェース	自機 ▼
フィルタ動作	透過 ▼
コメント	<input type="text"/> (半角英数字20文字以内)
リストへ登録・設定保存	

■送信元IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

■宛先IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

■プロトコル

「TCP」を選択して下さい。

■送信元ポート

空欄にして下さい。

■宛先ポート

「80」を入力して下さい。

Web ポート(アクセスポート番号)を変更している場合は、変更したポート番号を入力して下さい。

※10080 は WEB ブラウザのセキュリティ上の問題で使用できないので設定しないで下さい。

■送信元インターフェース

「WAN」を選択して下さい。

■宛先インターフェース

「自機」を選択して下さい。

■フィルタ動作

「透過」を選択して下さい。

⑥設定が終わりましたら、[リストへ登録・設定保存]ボタンをクリックして下さい。

IPフィルタリング登録リストに登録されます。

IPフィルタリング 登録リスト (64エントリーまで登録可能)									
送信元IP/マスク	宛先IP/マスク	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	送信元IF	宛先IF	フィルタ動作	コメント	選択
any	any	TCP	any	80 - 80	WAN	自機	透過		<input type="checkbox"/>
選択したエントリーを編集		選択したエントリーを一つ上げる			選択したエントリーを一つ下げる				
選択したエントリーを削除		全て削除							

登録が完了すると、WAN 側から設定画面にログインする事が可能になります。

## 10.MR-GM5L の設定(大阪支社 A)

MRL-IDM を利用するために必要な、デバイス(MR-GM5A)の各種設定について説明します。

### 10-1.HTTP 回線監視の設定

MRL-IDM で死活監視を行うための、HTTP 回線監視の設定について説明します。



デバイスの死活監視を行わない場合は、本設定は不要です。

①「ネットワーク設定」から「WAN 設定」を開いて下さい。



②回線監視機能」の設定を行って下さい。

WAN回線監視	
回線監視:	HTTPによる監視 ▾
初期発行間隔:	未使用 ▾
発行間隔:	5分 ▾
連続失敗検出回数:	2 回 (1~60回)
宛先1:	https://mrlidm.jp/monitoring/ [redacted]
宛先2:	www. [redacted]
宛先3:	www. [redacted]

#### ■回線監視機能

プルダウンメニューで「HTTPによる監視」を選択して下さい。

#### ■初期発行間隔

回線接続後に回線監視を開始するまでの待ち時間(1/5/15/30/45/60 分)を設定します。  
「未使用」を選択した場合、発行間隔の設定で開始します。

#### ■発行間隔

発行間隔を選択して下さい。(1/5/10/15/30/45/60 分)MRL-IDM で設定した監視間隔より短く設定して下さい。  
**(本設定例の場合:MRL-IDM の死活監視間隔 30 分なので、MR-GM5L 側は 15 分にする。)**

#### ■連続失敗検出回数

任意の回数を設定して下さい。ここで設定した回数、連続して監視に失敗すると、回線切断状態と判断して、回線の再接続や再起動等のリカバリ処理を行います。

#### ■宛先1~3

宛先1に MRL-IDM の「監視・アラート管理」内「HTTP 監視 URL 設定」の「30 分監視」の URL をコピー・貼り付けして下さい。



宛先は MRL-IDM の HTTP 監視 URL 以外も設定して下さい。  
MRL-IDM の監視 URL のみ設定した場合、MRL-IDM のメンテナンス等で HTTP 通信が不通になるとデバイスが回線障害と判断して回線の再接続やシステムの再起動等のリカバリ動作を行います。

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 10-2.NTP クライアント機能の設定

ステータスメールを送信するためとタイマーファームウェア自動更新を行うための、NTP クライアント機能の設定について説明します。

	デバイスのステータス監視、タイマーファームウェア自動更新を行わない場合、本設定は不要です。
	メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。 日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。

- ①「マネージメント」から「時刻情報 設定」を開いて下さい。
- ②「NTP クライアント機能」で有効(ラジオボタン)を選択して下さい。



IoT Gateway  
MR-GM5L

時刻情報 設定  
このページでは本機の時刻情報の設定が行えます。  
NTPクライアント機能を有効にすることでシステムの時刻を維持することができます。

現在時刻: 2024 年 9 月 11 日 11 時 11 分 32 秒

タイムゾーン選択: Asia/Tokyo (UTC+09:00)

NTPクライアント機能  有効  無効

SNTP サーバー: ntp1.jst.mfeed.ad.jp

設定保存 再読み込み

- ③NTPサーバーをプルダウンメニューから選択して下さい。

設定が完了しましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 10-3.メール送信機能の設定

MRL-IDM でステータスメールを受信するための、メール送信機能の設定について説明します。

	デバイスのステータス監視を行わない場合、本設定は不要です。
	メール送信機能を使用する場合、「NTP クライアント機能」を有効にする事を推奨します。 日時情報が合っていない状態でメールを送信すると、送信日時が不正なメールとしてメールサーバーに拒否されることがありますのでご注意ください。

①「マネージメント」から「メール送信設定」を開いて下さい。

<b>ステータス</b> + ネットワーク + ファイアウォール + 付加機能 - マネージメント システム 設定 時刻情報 設定 <b>メール送信機能 設定</b> システム ログ ファームウェア更新 設定保存・読み込み ログイン 設定	<b>メール送信機能 設定</b> このページではメール送信機能の設定が行えます。  メール送信機能: <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効  サーバーアドレス: <input type="text"/> サーバーポート: <input type="text" value="0"/> 接続保護: <input type="text" value="なし"/> <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を 送信サーバー: 認証方式: <input type="text" value="なし"/> ユーザー名: <input type="text"/>
--	---

②「メール送信設定」画面が開きます。

<b>メール送信機能 設定</b> このページではメール送信機能の設定が行えます。	
メール送信機能:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
サーバーアドレス:	<input type="text" value="mail.mrlidm.jp"/>
サーバーポート:	<input type="text" value="587"/>
接続保護:	<input type="text" value="なし"/> <input type="checkbox"/> StartTLS(RFC 3207)拡張を行わない
送信サーバー:	認証方式: <input type="text" value="平文"/>
ユーザー名:	<input type="text"/>
パスワード:	<input type="text" value="....."/>
送信元メールアドレス:	<input type="text" value=".....@mrlidm.jp"/> <input type="checkbox"/> メール送信グリーティングメッセージ(EHLO)に送信元メールアドレスのドメインを使用する
宛先メールアドレス:	<input type="text" value="system01@mrlidm.jp"/>
送信トリガー:	<input checked="" type="checkbox"/> WANインターフェース有効時のメール送信を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> 定期メール送信を有効にする 2 時 0 分 0 秒 (0~24時間) <input type="checkbox"/> 時刻指定メール送信を有効にする ※ <input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 メール送信実施時刻 0 時 0 分 <input checked="" type="checkbox"/> 装置起動時のメール送信を有効にする <input type="checkbox"/> 有線LANのLinkUP/LinkDOWNによるメール送信を有効にする
<input type="button" value="メール送信テストを行う"/>	
※: 本機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<input type="button" value="設定保存"/>	

■メール送信機能:有効(ラジオボタン)を選択して下さい。

■サーバーアドレス: **mail.mrlidm.jp**

■サーバーポート番号: **587**

■接続保護: **なし**

■認証方法: **平文**

■ユーザー名、パスワード: **MRL-IDM より通知されたユーザー名、パスワードを入力して下さい。**

■送信元メールアドレス: **MRL-IDM より通知された送信用メールアドレスをここに入力して下さい。**

- 宛先メールアドレス: **MRL-IDM より通知された宛先メールアドレスを入力して下さい。**  
(別途宛先を追加する場合は、(カンマ)で区切って入力して下さい。)
- WAN インターフェース有効時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
WAN 側回線の接続検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**
- 定期メール送信機能を有効にする(チェックボックス)  
メールによる死活監視を利用する、もしくはステータス監視機能を使用する場合はチェックを入れて、送信間隔の設定を行って下さい。
  - \* メールによる死活監視を行う場合、送信間隔はステータス通知ログ取り込み時間より短くして下さい。
  - \* 送信間隔を 0 時 0 分 0 秒で設定した場合、メール送信は行われません。
- 装置起動時のメール送信を有効にする(チェックボックス)  
装置の起動検知時にアラートを通知したい場合は、チェックを入れて下さい。  
**本設定例の場合、チェックを入れて下さい。**

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

## 10-4. 自動ファームウェア更新機能の設定

MRL-IDM でファームウェア自動更新を行うための、タイマー自動ファームウェア更新機能の設定について説明します。

	デバイスのファームウェア自動更新を行わない場合は、本設定は不要です。
	「タイマー自動ファームウェア更新機能」は、「NTP クライアント機能」による時刻取得が正常に行われた場合にのみ動作します。
	ファームウェア更新が実行されると、回線の切断と機器の再起動が行われます。スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。

①「マネージメント」から「ファームウェア更新」を開いて下さい。

ステータス + ネットワーク + ファイアウォール + 付加機能 - マネージメント システム 設定 時刻情報 設定 メール送信機能 設定 システム ログ <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">ファームウェア更新</span> 設定保存・読み込み ログイン 設定 再起動	<h3 style="color: #0056b3;">ファームウェア更新</h3> <p style="font-size: small;">このページではファームウェアの更新が行えます。 ファームウェア更新中は、本機の電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center;">                 今すぐファームウェア更新を行う             </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;">                 ファイルの選択    ファイルが選...れていません             </div> <div style="margin-top: 5px;"> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px;">ファームウェア更新開始</span>    <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px;">リセット</span> </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 自動ファームウェア更新             </div> <div style="padding: 5px;">                 自動ファームウェア更新:    <input type="radio"/> 有効    <input checked="" type="radio"/> 無効 ※             </div> <div style="padding: 5px;">                 ファームウェアダウンロードURL:    <input type="text"/> </div>
---	---

②「自動ファームウェア更新」で有効(ラジオボタン)を選択して下さい。

自動ファームウェア更新	
自動ファームウェア更新:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ※
ファームウェアダウンロードURL:	<input type="text"/>
曜日:	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土
ファームウェア更新時刻:	<input type="text" value="0"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分
※: 自動ファームウェア更新機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px;">設定保存</span>	

③MRL-IDM にログインして「ファームウェア更新」メニューをクリックして下さい。

④大阪支社 A (MR-GM5L-S1) のファームウェア更新 URL の URL コピーをクリックして下さい。

MR-GM5L series (MR-GM5L-S1)	大阪支社A	v2.00.09 (MR001)	https://	FW.bin		有効	<span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 5px;">編集</span> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 5px;">削除</span>
--------------------------------	-------	------------------	----------	--------	--	----	---

 注意	ファームウェアの対象機種を間違えると、ファームウェア更新に失敗して修理が必要となる場合がありますので、注意して下さい。
--------	---

⑤コピーした URL をファームウェアダウンロード URL 欄にペースト(貼り付け)して下さい。

自動ファームウェア更新	
自動ファームウェア更新:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 ※
ファームウェアダウンロードURL:	<input style="border: 1px solid red;" type="text" value="https://mrlidm.jp/fw-download/"/>
曜日:	<input type="checkbox"/> 毎日 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土
ファームウェア更新時刻:	<input type="text" value="23"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分
※: 自動ファームウェア更新機能は、NTP等により時刻同期された状態でのみ動作します。	
<span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px;">設定保存</span>	

⑥スケジュールを設定して下さい。

- ・毎日: 毎日バージョン確認を行います。
- ・日曜～土曜: 曜日を指定してバージョン確認を行います。
- ・更新実施時刻: バージョン確認を実行する時刻を入力して下さい。

 <p>注意</p>	<p>ファームウェア更新時は、回線の切断とデバイスの再起動が行われます。 スケジュールの設定については、運用上影響が無い曜日、時刻を設定して下さい。</p>
---	--

設定が終わりましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。  
再起動を行うと設定が反映されます。

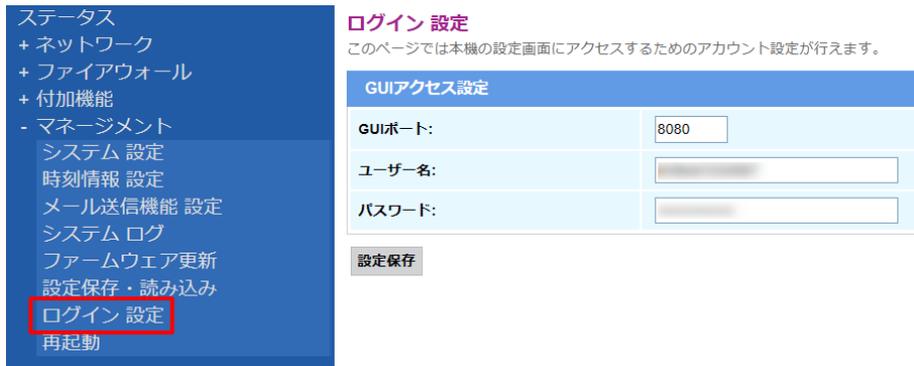
## 10-5.WAN 側からの設定（リモート設定）を許可する

MRL-IDM でリモート設定を行うための、「ログイン設定」と「アクセス制御設定」について説明します。

	デバイスのリモート設定を行わない場合、本設定は不要です。
	リモートでデバイスの設定画面にアクセスするためには、デバイスの WAN 側 IP アドレスがグローバル IP アドレスである必要があります。

	<b>WAN側から設定を許可する場合、設定画面にログインするためのユーザー名、パスワードは、必ず工場出荷値から変更して下さい。</b>
---	---

- ①「マネージメント」から「ログイン設定」を開いて下さい。  
「ログイン設定」画面が開きます。



- ②ユーザー名、パスワードを工場出荷値のまま利用している場合は、必ずユーザー名、パスワードを変更して下さい。

### ■ GUI ポート

設定画面にアクセスするための WEB ポート番号を工場出荷値から変更する場合、設定して下さい。(工場出荷値:80)  
**※10080 は WEB ブラウザのセキュリティ上の問題で使用できないので設定しないで下さい。**

### ■ ユーザー名

設定画面にアクセスするためのユーザー名を入力して下さい。

### ■ パスワード

設定画面にアクセスするためのパスワードを入力して下さい。

- ③[設定保存]ボタンをクリックして画面が切り替わりましたら、[後で再起動]をクリックして下さい。

- ④「ファイアウォール設定」から「アクセス制御 設定」を開いて下さい。



⑤「アクセス制御機能」で有効(ラジオボタン)を選択して、「設定保存」ボタンをクリックして下さい。

**アクセス制御 設定**  
このページでは本機への通信を透過/遮断するプロトコルとIPアドレスの登録、編集、削除および表示が行なえます。

アクセス制御機能:  有効  無効

WAN側からのPING アタック検出:  1秒間に許容するPINGアクセス数。(0 - 100) ※

WAN側からのHTTP アタック検出:  30秒間に許容する最大TCP/IP(HTTP)コネクション数。(0 - 100) ※

※: 本機能は、WAN側からのアクセスを登録しているサービスに対して動作します。

⑥以下の各設定を行って下さい。

インターフェース:  ▾

送信元 IPアドレス/マスク:  /

サービス名:  Any  http  ping

動作:  遮断  透過

■インターフェース

プルダウンメニューで「WAN」を選択して下さい。

■送信元IP アドレス/マスク

空欄にして下さい。

■サービス名

「http」にチェックを入れて下さい。

■動作

「透過」を選択して下さい。

⑦設定が終わりましたら、「追加」ボタンをクリックして下さい。

アクセス制御 登録リストに登録されます。

アクセス制御 登録リスト				
選択	インターフェース	IPアドレス	サービス	動作
<input type="checkbox"/>	WAN	Any	http	透過

⑧[設定反映]ボタンをクリックして下さい。

再起動を行うと設定が反映されます。

**アクセス制御 設定**  
このページでは本機への通信を透過/遮断するプロトコルとIPアドレスの登録、編集、削除および表示が行なえます。

アクセス制御機能:  有効  無効

WAN側からのPING アタック検出:  1秒間に許容するPINGアクセス数。(0 - 100) ※

WAN側からのHTTP アタック検出:  30秒間に許容する最大TCP/IP(HTTP)コネクション数。(0 - 100) ※

※: 本機能は、WAN側からのアクセスを登録しているサービスに対して動作します。

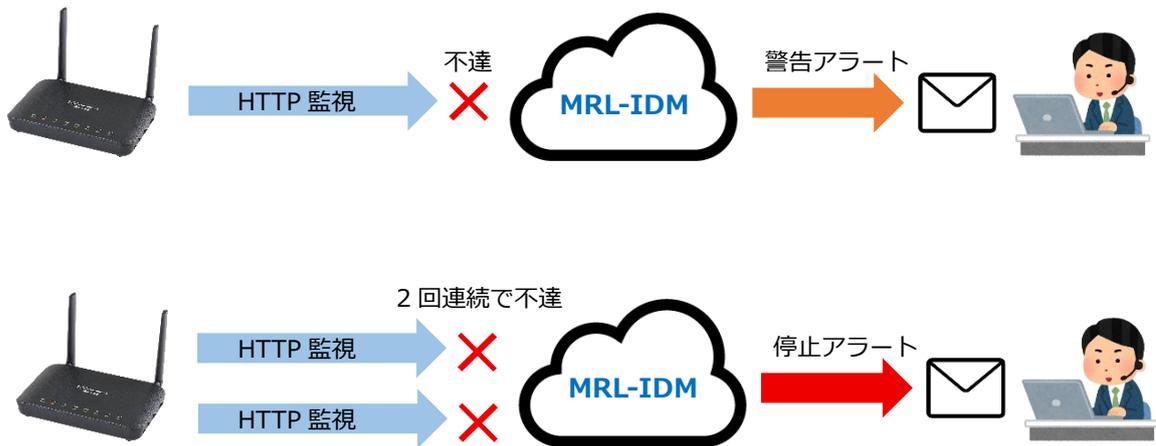
## 11. 死活監視機能の動作について

死活監視機能の動作について説明します。

デバイスの回線監視機能を使用して MRL-IDM へ HTTP 監視パケットを定期的を送信します。

MRL-IDM 側の監視間隔を 30 分で設定した場合、30 分間監視パケットを受信しなければ警告アラートを送信します。

2 回連続でパケットを受信しなければ、停止アラートを送信します。(60 分で停止状態を検知します。)



### 【アラートメールの内容例】

メール件名:[停止]MR-GM5A 死活監視アラート  
MR-GM5A が、「停止」状態になっています。確認してください。  
(MAC アドレス=00:10:38:xx:xx:xx)

## 12.ステータス監視機能の動作について

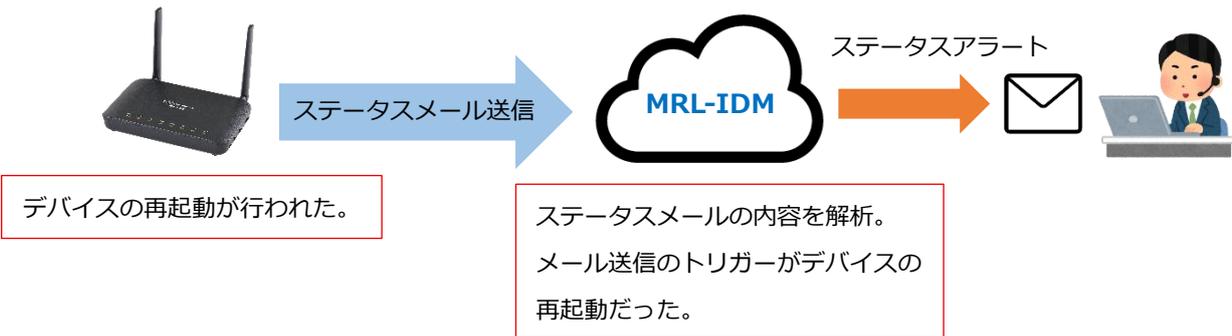
ステータス監視機能の動作について説明します。

デバイスのメール送信機能を使用して MRL-IDM へステータスメールを送信します。

メールの内容がステータスアラート条件に合致した場合、ステータスアラートを送信します。

本設定例の場合、WAN 側回線接続時とデバイスの再起動時にアラートを送信する設定にしています。

ステータスアラートは、2～8 時間間隔で送信されます。(スタンダード(無償)プランの場合 8 時間固定)



### 【ステータスアラートメールの内容例】

メール件名:【MRL-IDM】ステータスアラート通知

MR-GM5A(MAC アドレス=00:10:38:xx:xx:xx)のステータスチェックで、  
MR-GM5:メール送信のトリガー(Trigger)が指定された値「Smtpexec Power on Started 00 seconds ago」一致  
になりました。

Trigger : Smtpexec Power on Started 00 seconds ago